

第 4 期 第 3 回 中 原 区 区 民 会 議

日時 平成25年1月22日（火）14：00～

場所 中原区役所5階 502・503会議室

1 開催日時 平成25年1月22日(火)午後2時00分～3時58分

2 開催場所 中原区役所5階 502・503会議室

3 出席者

(委員) 川連委員長、富岡副委員長、板倉副委員長、青木委員、石井委員、稲富委員、梅原委員、岡本委員、尾木委員、反町委員、塚本委員、寺岡委員、中森委員、中山委員、成田委員、橋本委員、橋本委員、藤嶋委員

(参与) 市古参与、大庭参与、押本参与、川島参与、松川参与、松原参与、吉岡参与
(事務局) 板橋区長、小野副区長、岩瀬部長、風間部長、山崎所長、

石津副所長、諏佐室長、木下所長、綱島課長

企画課：川添課長、園田係長、倉見係長、橋本職員、深谷職員、野並職員

危機管理担当：森下課長(中原消防署副署長)、渡邊課長、

石塚計画デザイン事務所：千葉さん、牟禮さん

4 議題 (1) 第1回及び第2回課題調査部会報告(公開)

(2) 審議テーマ「絆を深めて支え合う防災体制づくり」に向けた
取組について(公開)

(3) 第2回運営部会報告(公開)

(4) 第4期区民会議2つ目の審議テーマについて(公開)

5 傍聴者 5人

6 会議内容

午後2時 開 会

1 開会

司会 皆さん、こんにちは。それでは、定刻になりましたので、ただいまから第4期第3回中原区区民会議を開催いたします。

本日の会議の議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます、中原区役所副区長の小野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、このたび中原区町内会連絡協議会から新たに石井康昭委員に加わっていただくことになり、本日の会議から参加をいただいております。

ここで石井委員に一言いただきたいと思っておりますので、石井委員、よろしくお願いいたします。

石井委員 御紹介いただきました石井でございます。長瀬町連会長が亡くなりまして、その後任として現在代行を務めさせていただきます。本日は中原区町内会連絡協議会の代表ということで参加させていただきました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

司会 ありがとうございます。石井委員、これからどうぞよろしくお願いいたします。

では、会議を進めてまいります。

本会議は過半数の委員が出席をされており、川崎市区民会議条例第6条第2項により、委員の半数以上の出席を得ておりますので、成立しておりますことを御報告申し上げますとともに、会議公開条例に基づき公開で行われます。また、会議録を作成し、公開することになりますので、御了承をいただきたいと思っております。

きょうの出席状況でございます。参与の先生方ですが、東参与と滝田参与につきましては所用により欠席の連絡をいただいております。そのほか何名かの参与の先生方はおこなっているようでございます。

それでは、中原区長の板橋より御挨拶を申し上げます。

区長 皆さん、こんにちは。区長の板橋でございます。本日は年が明けまして初めてお目にかかる方もいらっしゃると思っておりますので、本年もよろしくお願ひしたいと思っております。

さて、本日はお忙しい中、区民会議に御出席をいただきまして、本当にありがとうございます。昨年を振り返りますと、区制40周年、また、川崎が政令指定都市になって40周年ということで、さまざまな行事を行わせていただきまして、皆様方の御協力によりまして非常に滞りなく物事が進んだと思っております。本当にありがとうございます。

まだ年度内ということでございますので、これからも大きなものがまだ幾つかあります。2月に市民ミュージカルということで、中原区では初めてなんですけれども、市民が中原区をテーマにしたミュージカルを市民館でやるということもありますし、また、東京交響楽団と大谷康子さんをお招きしましてコンサートも開催する予定でございます。それから、多分最後の行事になろうかと思うんですけれども、パンジーボウルといいまして、アメリカンフットボールの関係で、中原区にある法政大学のトマホークス、学生ナンバーツーです。それから富士通のフロンティアーズ、これも実は社会人ナンバーツーなんです。

ですから、このナンバーツー同士の前哨戦を中原区でやっていただいて、来年はライスボウルでやっていただけるのではないかなと思っております。そういったようなことも40周年記念行事として残っておりますので、また引き続き皆さん方の御協力をお願いしたいと思っております。

最後に、アナウンスという形になってくるんですけれども、実は来年、2014年なんですけれども、川崎市制が90周年で市を挙げてのいろいろな行事があると思っておりますので、またよろしくお願ひしたいと思っております。

さて、今回皆様方をお願いしておりますのは、3つのテーマのうち防災の関係で、この間、ずっといろいろな部会で御審議をいただきまして、本当にありがとうございました。私は部会の出席はできないんですが、必ず議事録を拝見させていただいておりますし、また、事務局からも、つぶさにいろんなことの議論を伺っておりますので、そういう意味ではきょうの報告や議論も非常に楽しみにしているところでございます。よろしくお願ひしたいと思っております。

それから、防災について一言お話をさせていただきたいと思っているのですが、実は、けさも本庁で防災の会議がございまして、この間の3・11を踏まえた、もう2年近くたつんですけれども、とりあえずの計画の見直しがまとまりまして、今後、参与の方がいらっしやると思うんですが、議会あるいはパブリックコメントに向けて、当座、今ここまで来ていますというような感じの計画を、こんな分厚いんですよ。私も読み切れないぐらいの厚さで、きょう局長会議では議論させていただきました。そういったことも踏まえて着実に一步一步、防災体制が築き上げられているのだろうと思っています。

中原区におきましても防災連携協議会を3月に、開催する予定でありますし、既に医療部会、中原区には大きな病院が幾つかありますので、大きな病院や医師会の皆さん方もメンバーに加わっていただきながらの議論も着実に進んでおるところでございますので、また改めて、そういった議論がまとまりましたら皆さん方のほうにも御報告なり御提示をさせていただく形になろうかと思っております。

それと、もう一言だけ言わせていただきたいと思っているんですけれども、この話につきましては、既に住吉地区の社会福祉協議会の皆さんに少しお話をさせていただいたんですが、たまたま昨日、今日は雪にならずに済んだということですが、残念ながら成人式の日、晴れ着を着ておられた成人の方については非常に大変だったと思いますけれども、大雪が降りました。中原区は22センチということで、川崎は県内でも非常にたくさん雪が降ったわけでございますけれども、その雪の中で幾つか私も考えさせられることがありました。

雪かきの話なんですけれども、急に降ったということもありまして、なかなか雪かきがそれぞれの家庭ではしづらかった状態だろうと思います。私は鹿島田に住んでいるんですけれども、翌日私も朝早く、自分の家の前は雪かきをしてまいったところです。やはり従来に比べると自分の家の前ですら雪かきができていない御家庭があったり、あるいは集合住宅だとか商店街の中でも、残念ながら駅に行く道が全て雪かきをされている状態ではなかったということがありました。

改めてこれは世の中のきずなというものが、大震災以来いろいろ話をされていますけれども、例えば、通常の常識ならば、それぞれの家が自分の家の前ぐらいは雪かきをして、歩く人に迷惑をかけないと思うんでしょうけれども、残念ながらそうでもなかった。それが以前に比べてまた増えたのかなという気がします。まさにそういう意味では、雪かきをしようにもできない高齢者の世帯が多くなってきていることだとか、あるいは、商店街の中でも、オーナー商店ならば多分、自分の家の店はきちっとやるんでしょうけれども、チェーン店だとかなんとかというところ、どうしても朝出勤してからになるということもあると思うので、残念ながら我々の通勤時間には雪かきがされていない。高層住宅、大型マンションでもなかなか全部ができていない。そのような状況があったようです。

そういう意味では、ここで議論されている大きな部分が地域地域の、地域の社会のきずなということが大きな議論になっていると思うんですけれども、改めて大雪を見ながら、

なかなか震災以降、きずな、きずなと言っても、やっぱりやり切れない部分は多々あるんだなと思いました。それで改めて、やはり地域社会がなかなかそういった、雪かきすらもできないような状況にあるところについては手助けをするとか、あるいは、できるだけ早く道を確保するとか、そういうようなことが、必ずしも震災だけではなくて日常的にもそういうふうなものが求められてきているのかなと思っています。改めてそんなことも思いながら、きょうの議論を楽しみに聞かせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

最後になりますけれども、区民会議は2年の間の1年目の締めくくりをもうそろそろ迎えるということですので、ぜひ皆さん方の真摯な議論を御期待申し上げまして、開会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

司会 それでは、続きまして、事務局より本日の資料の確認をさせていただきます。

事務局、よろしくお願ひいたします。

事務局 それでは、本日配付しております資料を確認させていただきます。

まず、1枚目、本日の次第でございます。

続きまして、別添1、席次表でございます。

続きまして、別添2、委員及び参与名簿でございます。

ここからは資料でございます。

資料1、3番でございます。審議テーマに関する意見一覧表でございます。

続きまして、資料2、こちらもA3判でございます。課題解決に向けた取組事項（案）でございます。

続きまして、資料3、こちらも1枚目がA3判、2枚目がA4判でホッチキスどめしてございます、第4期区民会議審議テーマ検討資料でございます。

続きまして、資料4、平成24年度区民会議交流会の開催についてでございます。

続きまして、委員の方のみの配付となりますが、平成24年度区民会議交流会の出欠確認表でございます。

続きまして、資料5、A3判でございます。第4期中原区区民会議スケジュールでございます。

続きまして、ここからは参考資料でございます。参考資料1-1、第1回課題調査部会会議録でございます。こちらは2枚でございます。

続きまして、参考資料1-2、第2回課題調査部会会議録でございます。こちらは3枚でございます。

続きまして、参考資料2といたしまして、資料番号は振ってございませんが、「そなえる。かわさき」ほぞんばん（やさしいにほんご版）でございます。こちらは冊子となっております。

続きまして、参考資料3といたしまして、防災マップ（中原区版）でございます。

続きまして、参考資料4といたしまして、こちらも資料番号は振ってございませんが、

やさしいにほんごきょてんりすと（なかはらく）でございます。

続きまして、参考資料5、住吉中学校災害図上訓練の報告でございます。

続きまして、参考資料6、第2回運営部会会議録でございます。こちらは2枚でございます。

続きまして、参考資料7、第4期区民会議準備会議委員意見一覧でございます。こちらはA4で3枚でございます。

続きまして、参考資料8といたしまして、地域コミュニティを考える講演会チラシということで、こちらは以前、区民会議で審議テーマとなりましたコミュニティづくりに基づきまして区役所で事業を継続して実施しているものでございますが、2月24日、講演会がございます。防災にかかわる部分もございますので、参考までに配付をさせていただいておりますので、よろしく御参加いただければと思います。

あと、最後に、枚数に限りがございますので、委員の方のみの配付とさせていただいておりますが、「食品の備蓄のすすめ」というリーフレットでございます。こちらは本日、岡本委員から資料を御提供いただきました。枚数の都合がございましたので委員の方のみ配付させていただいております。

配付しております資料につきましては以上でございます。

事務局 ありがとうございます。

ただいま資料につきまして御確認をさせていただきましたが、資料等が不足をしている委員の皆さん、いらっしゃいませんか。よろしいでしょうか。

それでは、ここからの進行は川連委員長にお任せしたいと存じますので、委員長、どうぞよろしくお願いいたします。

川連委員長 皆さん、こんにちは。皆さんにお会いするのは3カ月ぶりになりますが、皆さん、お元気な様子を見て安心いたしました。私も元気に活動しております。20日の日曜日には元住吉のオズ通り商店街と木月2丁目町会との合同の防災訓練が平和公園でありまして、私はカメラを持って見学に行っていました。そのようにあちこちで防災訓練が行われるということは大変いいことだと思います。

ここから私が議事を進めることとなりますけれども、よろしくお願いを申し上げます。

早速始めさせていただきます。

2 会議録確認委員の選任

川連委員長 まず、会議録確認委員の選任をいたします。

前回は稲富委員と梅原委員にお願いをいたしましたので、名簿の順番で恐縮ですが、今回は岡本委員と尾木委員にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

それでは、課題の審議を進めてまいります。

3 議題

(1) 第1回及び第2回課題調査部会報告

川連委員長 まず初めに、第1回及び第2回課題調査部会の報告を受け、審議テーマ「絆を深めて支え合う防災体制づくり」に向けた取組について議論いたします。

課題調査部会では11月5日と12月7日の2回にわたり課題解決に向けて熱心に議論をしていただきました。課題調査部会の審議結果について、課題調査部会部会長である板倉副委員長に御報告をお願いしたいと思います。

それでは、よろしく願いをいたします。

板倉副委員長 こんにちは。それでは、課題調査部会の報告をさせていただきます。

今、委員長からお話がありましたように、11月5日と12月7日、2回にわたりまして、委員9名全員出席という形で課題調査部会を終わっております。各会議の詳細な内容は本日の添付資料の中にある参考資料1-1、1-2というところで会議録が出ていますので、それぞれに御確認をお願いしたいと思います。

1回目の部会で部会長、副部会長の選任ということで、私が部会長に、岡本委員を副部会長に選任する形で会議を進めてまいりました。

それでは、まず、資料1、審議テーマに関する意見一覧表というA3の資料を見てください。

これまで区民会議の準備会議、第1回、第2回、それぞれの会議の中で、それと、第1回の運営部会で出されたそれぞれのテーマに関する意見をそれぞれ集約してまとめたものが資料1でございます。この中で、ちょうど真ん中のところに「取組のテーマ（方向性）」と書いてあると思うんですが、皆さんの御意見をそれぞれ整理しますと、個人を対象とした啓発活動や情報の提供をどうするか、家庭内での自助に関する取り組みをどうするか、地域における防災訓練の実施、地域の中で防災関係の人材育成をどうするか、自主防災組織、避難所運営会議等をどうやって充実していくのか、大型集合住宅における防災対策をどうするのか。それぞれ整理をしますと、大体この5つのテーマになるのではないかなということ整理をさせていただきます。

その結果、第1回の課題調査部会では、防災情報をもっと外国人市民を含めて区民へ伝える方法をどうするのか。特に徐々に外国籍の方もふえてきていますので、中原区としては1つの問題として取り上げてはどうか。それから、地域の特性を踏まえた防災イベント。これは小杉駅周辺再開発地域と戸別住宅の混在する地域、中原区もそれぞれいろんな特性がありますので、そういう特性に基づいて何かイベントを行う必要があるのではないかな。それから、活発な活動をしている自主防災組織、それと、活動が少しおこなっているなというふうなところの方々も、もっと協力を求めてやっていってはどうかというような話でした。

第2回の検討では、絆を深めて支え合う防災体制づくりにおける、区民会議としてどうやって取り組むかということでもまとめてございます。防災をもっと区民の方々に伝えるということに関しまして3つほど提案がされております。これは資料2を見ていただくとよ

ろしいかと思うんですが、まず、区役所内に防災の情報コーナーを設けてはどうか。これは区役所の1階なんかにはパンフレットを、どうしても縦割りにになりがちなので、いろんなパンフレットが出ているんですが、場所が1カ所に集められていないことから、なかなか皆さんが簡単に集められる状況でないので、防災だけを取り出して1カ所に集約して区民の方に伝えることができないであろうということで添付をしております。

これにつきましては常設というお話もあったんですが、可能であれば常設よりは9月の防災の日とか3月11日、この時期に一、二週間ほど集約して展示してはどうか、そうすると割と整理がつくのではないかと、こういうような御意見が出ております。ただ、これに対しては次の運営部会の中では、やはり常設のほうがいいのではないかとというような御意見も出て、この辺、めり張りをつけてやっていく必要があるのだろうと考えてございます。

それから、次に、区民の方が転入手続きをするときに情報を伝達してはどうか。主要なパンフレットを皆さん方に配付することができるのではないかと。特に外国籍の方にも専用の資料を用意して配付ができれば情報伝達ができるのではないかとというふうな御意見もございました。

次に、身近な防災資器材の紹介ということで、公園とか住民にとって身近な場所に防災の設備はそれぞれあるんですが、それを知らない方々がいる。その辺をどうやって伝えていくのか。伝えることによって皆さんそれぞれの防災の意識が高まるのではないかとという意見で、こんなことをやってはどうかということでございます。

次に、防災のイベントを行うということがございました。これは災害時に各地域での活動を支える、また担える人材をこういうイベントの場で発掘していくのはどうでしょうか。開催に当たっては、やはり先ほど地域の特性と言いましたが、大型マンションのある地域とか、高齢者が多い地域とか、こういうそれぞれの地域の特性に合わせてイベントを打つことがいいのではないかとという意見の一致を見ています。

それから、イベントの内容としては災害時図上訓練(D I G)や講座が効果的ではないか。この辺については区民会議の中で検討していけばよろしいだろうと思います。あと、実施につきましては、8月31日に中原区が会場となる川崎市の総合防災訓練がございましたので、その前にイベントを実施して啓発を図っていくのはどうであろうかという御意見がございました。

また、運営部会の中では、このイベントに合わせて区民会議委員がそれぞれの所属している団体のメンバーの方に集まっただいて、その人たちと交流を深めることで各団体間の相互の、企業と区民とか、そういうそれぞれの相互の取り組みをする、対応する。そんなことで、非常時にそれぞれどこがどういう活動をしているかということで、いざというときに助け合うことができるのではないかと、共助の世界ができるのではないかとという意見がございました。

それから、次に、自主防災組織の活動でございますが、これは第2回の本会議でマンションの関係、町内会の活動ということで先進的な事例の発表がございまして、皆さんがそ

うという事例を広げていくことがよろしいのではないかという御意見もございました。ただし、自主防災組織というものは1つのそれぞれの団体、そして常に行動がなされておりますので、区民会議としては支援をする形でいくのがよいのではないかという御意見がございました。

次に、防災意識の向上でございますが、東日本大震災の経験から、災害時も非常によく活動しているというか、役に立ったということで、中学生が非常にそれぞれの活動をやっていたということから、中学生の防災意識を向上してもらい取り組みも必要ではないかという御意見がございました。しかし、これは現状で確認しますと、中原区の8中学校のうち5校までが、既に中原消防署の指導によりまして災害図上訓練を実施していることがわかりました。これについては事務局が視察して、参考資料5についてありますが、こんな活動をしておりましたよという報告がなされております。

それから、次に、子育て世代の防災に関する考え方、もしくは啓発をどうするかということでございますが、子育ての保護者の方々の防災の心、また行動の仕方というようなことで、一回講演会でやってみてはどうだろう。この件は青木委員が丸子地域で一度講演をやった実績があるということがございます。

次に、大型マンションの防災組織をどうやってつくっていくかという、その辺がでございます。第2回目のときに塚本委員からコスギタワーの自主防災についての取り組みというお話がありまして、非常に積極的な活動をされていたということです。区内に100戸以上の大型マンションがございますが、この中でそれぞれのマンションの中に自主防災組織が結成されていないところがいくつかあるということでございますので、この辺を現状認識する意味で調査をして、今後少しこの辺の取り組みを続けていくということで話をしております。

それから、次に、防災時に必要なリーフレットなどを作成するということがございました。これは、震災時に家が破壊されても割と冷蔵庫や何かが壊れることなしに残っているというような話がございまして、冷蔵庫の中にそれぞれの個人の情報を書いて入れておいていただくと、いざというときにその方の対応ができるのではないかという話もございました。ただし、現在、既存のリーフレットは結構たくさんあるんですね。あるんですが、やはりばらばらになっていて。それから、中学生ぐらいになると生徒手帳があるんですが、小学校の方々はそういうものを持っていないので、その辺のところをどうするか。ただ、個人情報という壁があって、果たして小学生にそういうものを持たせることができるかどうかというような話もございました。

次には、区民会議が取り上げるというよりも、市民と行政の間の問題というところで説明が書いてあります。下から2行目ぐらいのところですが、区民と行政の協働に関する取り組みということで検討してございます。これは外国人市民の防災への理解向上をどうやったらいいだろうと。この中では、外国の市民の方々が集まる識字学級等を通じて防災の意識を広げてはどうかという御意見もございました。

それから、もう1つは、消防団の取り組みをどうするか。どうも中原区は消防団が常に人員不足に悩まされているという状況もございますし、また、地域における消防団の役割を多くの市民に知っていただくということから、活動、報告をどこかでやってはどうだろうかということの検討がございました。まず、2月1日の市政だよりの中で、この消防団の活動のお話が掲載されるようでございます。

それから、区内の公共施設の関連、それから、小杉周辺マンションが連携をとるようなうまい方法はないだろうかというようなことがございました。そのほか、中原区の防災連絡協議会の運営等を通じて広く防災活動を啓発していくことも大切ではないか。

そのほか、例えば法政大学の体育館等が新しくできておまして、耐震性も非常にありますが、果たしてそういうところを災害時に使えるかどうかという問題もございましたので、その辺のところも使えるようにできるような方向で連携をして、協働という形で活動できないのであろうかというお話もありました。

以上が2回にわたる課題部会の検討でございます。さらに運営部会で検討いただいて反映していただいておりますので、それらを反映して、これから区民会議ではなかなかやれない部分が先ほど申し上げたようにあると思っておりますので、皆さんのこの場での御意見を伺いまして絞り込んでいきたいと思っております。

説明は以上でございます。

川連委員長 どうもありがとうございました。課題調査部会の審議結果の報告と取組事項の案内について御説明をいただきました。

(2) 審議テーマ「絆を深めて支え合う防災体制づくり」に向けた取組について

川連委員長 ただいまの説明を受けて、審議テーマに関する取組事項について委員の皆様の見解をお伺いしたいと思います。意見のある方は挙手をお願いいたします。

ないようですね。それでは、私から指名させていただきますけれども、青木委員、いかがでしょうか。

青木委員 今、御紹介いただいた中で、私は丸子地区では子育て講演会等を去年の10月10日にやりました。ロー紀子さんという方が、去年の3月に被災された乳幼児を持っている親子につぶさに体験談を聞いたということで、それをまとめて冊子でも出しているんです。私どもは丸子多摩川いこいの家に29組の親子に来てもらって、やはり実際に体験したリアルな話なので、その話は若い母親の心に訴える話で、本当に参考になったと言って喜んでおられたし、また、涙を流している人もたくさんいました。

それをこの区民会議で取り上げていただきたいと思いましたが、実際、丸子のほかに、たしか大戸地区で松原会長がおやりになるとかと言っておりました。これは提案したときに、この区役所の5階に集めていると思ったんですけれども、やはりそれぞれの、今、中原に16カ所ぐらい子育てサロンをやっている会場がありますので、そういうそれぞれのサロンでせいぜい30組前後の若いお母さんに話を聞いていただいたほうがいかなと

ということで、大きなところでの講演会というよりも、親子防災ということでそれぞれのサロンで取り組んでいただいたほうがいいかなと思っている次第でございます。事務局のほうにも、もちろんそういうことでお話しさせていただきました。

思いついたところは以上でございます。

川連委員長 ありがとうございます。岡本委員、いかがですか。

岡本委員 課題調査部会でもいろいろたくさんの課題が出ていますけれども、本当にこれをまずどれからやっていっていいかというようなことも、これは1つ討議していかなければいけないのではないかなと思っております。

この間、講演会を聞きまして、日中は家庭にいる人たちを重点的にというようなことを女性の方が言っていってらっしゃいまして、女性の方を巻き込んだ訓練も必要ではないでしょうかということを、女性はきめ細かく、お昼は赤ちゃんと一緒にいたり高齢者の方と一緒にいたりするので、実際こういうふうな子供ということを書いていってらっしゃいました。

それと、この訓練ですけれども、訓練するといってもなかなか皆さんが来てくださらないので、何か少し趣向を変えた、おもしろみも入れたような、ゲーム的なようなものも取り入れながら、皆さんに親しんでいただいて意識を向上していくのもいいのではないかなというようなことも考えました。この紙面を見せていただきまして。

そういうふうなことで、こういうふう意識を高めながら、これから今後どうしていくかということを皆さんでちょっと、今すぐ私の中で出てこないですけれども、そういうふうなことをしていただければ区民の人の意識を上げていくことができるのではないかなと思っております。

川連委員長 ありがとうございます。あと、尾木委員、いかがでしょうか。

尾木委員 この中に自主防災組織と避難所運営会議などの活動の充実なんていう項目があるんですが、実は丸子地区でも今、青木会長も非常に熱心に、何か中学校あたりでやっていらっしゃる。東横線の東側は6小学校区あるわけです。上丸子小学校区ですか。これも前々から、それも実際にやらないとよくわからないよということで、みんなそういう町会長の意見は一致したんですが、さて、どういう内容で、どういう規模でやったらいいのかというところへいくと、なかなか逡巡しちゃって実現できなかったわけですが。来月、十何日ですか。とにかくやってみようよというところまでこぎつけまして、消防署から起震車とか煙の施設も持ってきていただくことになっています。具体的に、訓練だとかをどういうふうな手順でやるかということになると、なかなか話がまとまらないというもどかしさがございました。

上丸子小学校の校区の各町会で、町会長たちが、余りお偉方がうろろするよりは、むしろ実務者レベルで若手を前面に出してまとめてもらえればということで、そういう方式でやりましたら、割と彼らは一生懸命やってくれまして、今度は実際に初めてやるわけなので、どういう成果が上がるか、また、どういう地域に対するアピールができるかという

のは、まだこれからのことなんですけど、とりあえずやるところまでこぎつけたということで、また次の会議のときにその内容については、また皆さんにお話しできるのかなとは思っておりますけれども、この自主防災の組織というのは、やはり、いざその防災組織が活動しなければならないというときには、例えば大震災とかそういうときには、本当に皆さん心を1つにしてやれるんでしょうけれども、やはり日ごろの準備というものも必要かなということで、この区民会議でも私も自主防災の出身でございますので、そういったものの充実等、もうちょっと意識の向上を図ろうということはお話を申し上げたこともありますが、とにかく余り大上段に構えて立派にやろうなんて思わないで、とりあえず何でもやってみれば、今度からこういう形にしようやというような形のほうが、かえって住民の皆さん方の御理解を得られて、また参加もふえるのではないかなということで、今度、2月にやってみますので、また結果を御報告させていただきます。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。

まだ少し時間があるものですから、塚本委員、いかがでしょうか。

塚本委員 私は、この課題調査部会のメンバーで2回とも出て、ここにまとめられているようなことをやっていこうということで、ぜひ進めていきたいと思っているんですが、いかんせん、ちょっと数も多いのでね。これを具体的に実際に動かしていくというのを、では、どうしていくのかというのをどういう場で決めていくのかなということと、あと、せっかくこういうことを区民会議主導でやっていくので、ぜひ区民の人に区民会議でこういうことをやっているんですよというPRをするチャンスだと思うので、例えばうちで言うと、再開地区のマンスションの連合で2月に初めて、今までは各マンスションで防災訓練をやっていたんですが、今回はちょっとだけ合同でやってみましょうという練習をやってみるんですね。午前中は各マンスションで訓練をやって、午後合同でやりましょうというふうなことを初めてやってみようとしているので。

その際にも、そのときは各マンスションの防災委員が集まったりするので、区民会議ではこういうことを今やろうとしているんですよ、こういうことを一緒にやってみませんかということを投げかけたいと思っているので、これを具体的にしていくアクションとツールをしっかりと準備していきたいと思います。

川連委員長 ありがとうございます。それでは、中森委員、いかがでしょうか。

中森委員 ありがとうございます。

私も同じように2回も参加していて、できればこのとおりにやってほしいんですけども、1つ加えたいのは、この前、私の町会で訓練をやっていて、そこで消防署の方と話ができて、できれば学校でDIGをもうちょっとできるようにしてほしい。自分たちもすごい必要に思っているんで、学校もその必要さをわかってほしいと言っていました。いざそういう災害がある場合は、消防局からいろんなところに消防車を出すことができないので、その地域ごとで訓練をした方たちだったら、もういろいろ準備しているので、いざな

ったらそこから助けることができるということで、自分たちにとってもすごい助かりますということアピールしていました。だから、できるだけこういうものを私たちも学校とか、いろいろ区民全体にアピールしたほうがいいと思っています。

川連委員長 ありがとうございます。橋本委員、いかがでしょうか。

橋本委員 私は部会でいろいろやったわけですが、この5つ取り上げた中で、1と2のいわゆる個人を対象とした啓発と、それから自助の部分ですね。これは区民会議主導である程度進められるのかなというような気がしております。

まず、防災コーナーの設置などというものも、これは行政と自主防委員の力か何かでできるのかな。これも最初、区役所にというような話もしていたんですが、それ以外に今度、中原図書館が新しくできるので、あの辺なども非常に多くの人たちが集まるので、中原図書館なども利用して、区役所以外に新しく、あそこですと駅に近いし、多くの方が利用するので、防災情報コーナーなどはああいった図書館などにも、もし図書館のほうで余裕があれば設置していただけると、PR効果が非常に大きくなるのかなと思っています。

それから、先ほど備蓄物品の関係で非常にいいものを配っていただいたんですが、これもやはり、それぞれの行政のほうも縦割りでやっているもので、自分のところは非常に詳しいんだけど、それ以外にももうちょっと欲しいなというときによくわからないので、防災コーナーなどで全体がわかるような形としてPRしていくことが必要なのかなと。

それから、やはり、こういったコーナーなどについては、私は個人的には常設でしていかなければいけないのかなという意見を持っております。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。では、藤嶋委員。

藤嶋委員 私は、ここに載っていないんですが、携帯電話ですね。今、何をみんなが持ち出すかといったら、まず携帯電話ということなんですが、それが何か変なときに鳴って、また鳴らなかったり、それを徹底していただきたいと思います。

先ほども教育の話が出ておりましたが、教育委員会とか、そういうところではどのように生徒を指導するかとかいうことを、この区民会議で一回、教育委員会の先生の防災と、そういうことも聞く機会があったらいいのではないかなと思っています。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。稲富委員、いかがでしょうか。

稲富委員 私は運営部会の中でお話しさせていただいたんですけども、それぞれが訓練をしたり、いろんな情報を提供したりということは、やっぱりここに話されているとおり、やっていくことも大事だと思いますけれども、どう意欲を上げていったりしていくかというところで、各組織間でそういったものを情報交換するようなことをやったらいいのではないのでしょうか、いい事例を取り入れていくということをやったらどうかなという発

言をさせていただいたんですけれども、先日も震災フォーラムへ行かせていただいて、最後の質問で出ていたのが、自分のところは防災訓練をやっているけれども、それが結局本当にそれでいいのかどうかというものを多分聞かれていた人がいて、要は、自分たちがやっていることがいい状況なのか悪い状況なのかというような話があって、自分のところの限られた中でやっていると自己満足に陥りがちになってしまいますから、そういう意味でもほかのところの事例を見たら、ああ、自分たちが進んでいるなと思うのか、ほかをもっと進んでいて、もっとこういうことを気をつけていかなければいけないんだなと気づくことで、そういう意識が高まるということもありますし、運営部会なんかで言ったのは、例えばここに区役所の中にそういう情報があるという場所をつくったとしても、震災時にそこに来られるかという問題もあるので、そういう横のつながりの情報交換もつくっておくことが大事なかなという観点で、そういう取り組みをしてみてもどうかというお話をさせていただきました。

共助という中では特にその辺の横のつながりは非常に大事だと思いますので、そういうところがどうできるかなんですけれども、実際にはこちらに挙げられていることでも相当大変なことです。どう絞り込むかについては、ちょっと私も今考えさせていただいているところであります。

いずれにしても何か形にもしたい部分もございますので、議論できたらなと思っています。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。梅原委員。

梅原委員 例えば夜間火事が起こったときにはどんな状態になるかというものを、テントを張って真っ暗にして、煙を出して、みんな通過させるとか、あるいは、地震が起こったときは本当にどんな状態になるかということで、起震車に乗っけるとか、いろんなことをやりまして、災害のときはどういう訓練をすればいいかということを中心に中原区のボーイスカウト、ガールスカウト、その保護者の方を公園に集めて訓練したことがあるんです。

そうすると、災害が起こったときにどうなるかというのをほとんど知らないんですね。ですから、災害が起こったときにどうなるかということを経験的に勉強するのが非常に大事ではないかなという感じがいたしました。そのときに、皆さん、子供たちも来ていますので、目玉として市が保存している災害用の食料なんかがあるんですね。その期限切れ寸前のものをたくさんいただきまして、それで五目御飯とか、今度は災害時に食料を確保するときはどうすればいいかということで、みんなでお湯を沸かすとか、いろんなことをやりまして、そういうものをつくって食べる訓練をやったことがあります。

そういう意味では、実際に災害が起こったときにどういうふうな状態になるのか、何をすればいいのかというふうなことを訓練いたしました。そのときに感じたのは、やはり何か仕切る人、指導者に相当する人間がいないと、みんなワーワーワーやって何もならないなということがよくわかりました。そういう意味で、地域におけるリーダーの充実が

必要というふうなことで意見を出させていただきました。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。

先日も平和公園に私も見に行っただけですけども、これはちょっとやらなくてもいいのではないかというのは、ファイバースコープを、町民の方に警察がやっているんですけども、見せているんですよ。でも、ああいうものは各家庭に全然ないものですからね。それはもう警察だとか消防隊とか、そちらにお任せして。そういうものが訓練の中に入っていたんですよ。だから、これは参考のためにやっているのかなと思いましたけれども、訓練ももっと現実に合った訓練を。

あとは消火訓練とか蘇生の心臓マッサージとか、あとは起震車がありましたけれども、そんなものが出ていましたので。これはちょっと、我々でどうにもならないようなものは訓練ではないのではないかなと思いました。

中山委員、いかがでしょうか。

中山委員 3つほど。

1つ、この資料2をおつくりになったときに、とてもよくできておりますが、尾木委員は委員になっておりますか。尾木委員の経歴を見ますと、中原区自主防災組織連絡協議会の副会長さんですね。ですから、ここに入っておられれば、もっといろいろな意見があったかなという実感がしました。

2つ目。これは訓練なんですけど、私は上丸子天神町という町に、青木町会長のところに住んでおります。天神町はこういうことはないんですけども、訓練だと人集めをして、前回出た人がまた今回も行く。では次回も出てくださいというふうなことで、同じ人が何回も訓練を受けても同じことなんですね。だから、訓練だったら違う方が行けばそれだけ訓練できる。基本的なことがそこで学べるような気がします。

3つ目は、啓発、要するに、その広報をどうやってしたらいいかということなんですけど、これを見ますと区役所に防災情報コーナーを設置というように書いてありますけれども、恐らく今もやっているだろうと思いますが、出前広報ですね。コーナーをつくったから皆さん来てくださいではなくて、こちらから出て行って広報しましょうというようなことがあればいいかなという気がしました。

以上3点です。

川連委員長 ありがとうございます。

さまざまな御意見をいただきました。ここで中原区区民会議に対して区民の方から御意見をいただいておりますので、紹介させていただきます。

防災について議論するに当たりまして、ぜひペットについても考えてもらいたいとの意見をいただきました。昨今ペットブームと言われておりますが、ペットを家族の一員として大切にされている方もいらっしゃると思います。ペットについて防災の観点から御意見がある方がいらっしゃいましたら、一言お願いしたいと思います。

反町委員、何かありますか。

反町委員 ペットについてということで、うちも実はペットがいて、犬が2匹いて、本当に家族の一員のような形でかわいがっているんです。2匹いると今言ったんですが、実は年末に1匹亡くなってしましまして、大分歳だったんですけどもね。今1匹で、本当にまさに家族の一員がいなくなってしまうということで、もう家族みんなで悲しんで、心の傷がようやく癒えたかどうかというところなんです。

3・11のときは、やはりペットの問題というものは、東北のほうでも被害が激しかったところでも非常に悲しい状況になったというのは、いろいろな報道などで伺っているんですが、やはりここ中原区においてもペットを飼われている方、いろいろな形で飼われている方、屋内で飼われている方が多いんですかね。たくさんいらっしゃると思うんですが、それに関しての取り組みというか、きちんと仕組みとか、そういうことを考えていくことはとても重要だと思うので、ぜひそういう形で議論していけたらと思うんですが、今回で防災体制づくりについての検討する会議としては最後ということで、この会議の中で、今この場で全てを決めていくのはちょっと難しいかなという気もするんですが、今後検討していくということのできたらいいのではないのでしょうか。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。

私もこの件はいずれ、今まだ何をやるか決まっておられませんけれども、防災イベントのときに何かちょっとできたらいいかなと思っております。そんなところでよろしいでしょうか。

時間の都合もございますので、まとめはこれで終わらせていただきます。多くの御意見をいただきましたので、現在の案に反映できるものはできる限り取り入れることとしまして、また第4期区民会議期間中に加えられる取組事項がありましたら追加することといたしますが、大筋でこの取り組み案について皆さんの御了承をいただくということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

川連委員長 それでは、異議がないようですので、本案を区民会議としての取り組み案とさせていただきます。

(3) 第2回運営部会報告

川連委員長 次に、12月21日に開催した第2回運営部会の報告に移ります。

運営部会では主に本日の区民会議の運営に関することと2つ目の審議テーマについて議論いたしました。運営部会の審議内容につきましては運営部会副部長である富岡副委員長に御報告をいただき、その議題である第4期区民会議の2つ目の審議テーマについて議論してまいります。

それでは、富岡副委員長、よろしくお願いいたします。

富岡副委員長 それでは、運営部会報告をさせていただきます。

12月27日に委員7名全員の出席で運営部会を開催いたしました。まず、板倉副委員長から課題調査部会の報告を受けました。本日の会議への付議内容を確認いたしました。続いて、第4期区民会議、2つ目の審議テーマについて審議を行いました。

課題調査部会の審議内容につきましては先ほど板倉副委員長からまとめて報告がありましたので、私からは次の審議テーマに関する運営部会の審議内容を報告いたします。なお、当日の詳しい審議内容は参考資料6の会議録で確認できますので、よろしくお願いたします。

部会では準備会議と第1回本会議で各委員から提案された検討テーマを改めて確認するとともに、1つ目のテーマを決めた8月の第1回運営部会での議論を振り返りながら、2つ目の審議テーマについて意見交換を行いました。第1回運営部会では委員の皆さんの意見が比較的多かった防災、子育て、魅力発信を第4期の審議テーマの候補とし、審議する順番については東日本大震災の経験が風化しないうちに防災に取り組む必要がある、また、災害がいつ起こるかかわからないとの意見により、「絆を深めて支え合う防災体制づくり」を最初の審議テーマにすることと決定いたしました。

2つ目の審議テーマについては、既に候補に上がっていたものから子育てがよいのではないかとの結論に至りました。委員からは、中原区は子育て世代が多く、支援策も充実しているが、それでも多くの住民が居場所を求めている現状がある、いじめや児童虐待も問題になっている、乳幼児だけではなく学齢期の子供を含めた子育て支援が必要ではないか、1つ目のテーマである防災と関連する部分も出てくるので2つ目に子育てを考えるのがよいのではないかなどの意見があり、運営部会としては子育て支援を2つ目の審議テーマの候補といたしました。

本日の会議では次のテーマは子育て支援がふさわしいかどうか、また、子育て支援をテーマとしたとき、どういう視点で検討するべきかなどについて委員皆様の意見を確認し、さらにその内容を次回運営部会で深めて審議テーマを決定したいと考えております。

以上、説明いたしました。ありがとうございました。

(4) 第4期区民会議2つ目の審議テーマについて

川連委員長 どうもありがとうございました。

ただいまの報告を受けて2つ目の審議テーマについて議論してまいりたいと思いますが、これまでの経過を確認するため、事務局に資料の説明をお願いしたいと思います。

それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局 それでは、事務局から説明いたします。

今、富岡副委員長から今までの経過説明がございましたが、その議論を重ねる中で、使った資料の説明で再度確認したいと思います。資料のほうは資料3、横長のA3の資料ですが、この資料については今期、第4期の区民会議が始まる最初のときに準備会議を行

い、その中で委員の方にアンケートをお願いして、どういう形のテーマをこれから議論していきたいですかというテーマを出していただいて、それをまとめた資料です。これは今回つくったわけではなくて、今までも見たとは思いますが、議論のたびにつくってきた資料でございまして、大きな四角があって、そこから吹き出しが出ていると思うんですが、その吹き出しについては第1回の区民会議で出された意見をつけ足してあります。ここで出たテーマといたしましては、一番左の大きな四角が防災もしくは安全、これが普遍的なテーマであろうということで、あと、その下が子育て、教育、この辺のテーマも必要ではないか。

それから、ずっと右に行って真ん中のところ。楕円形の中に入っている地域住民組織の活動、これは住民の交流だったりコミュニティづくりも考える必要があるだろうということで、その下については、やっぱり世代間といいますかね。高齢者も含めた健康なり福祉の推進が必要だろうということで出ております。

右側の四角。4つ並んでいるんですが、これは中原区の緑が多いということで、この保全をどうするか、もしくは環境問題をどうするか。その下については、中原区は歴史が非常にある町だということで、中原街道やその他の歴史、文化を取り上げたい。その下については、まちの活力向上ということで、これは商店街や地域全体が元気になるにはどうするんだ。これは必要ではないのかということで出てきました。右の一番下のその他、区民会議のPRということで、これは皆さん議論して、区民会議をいかに知ってもらおうかという形でこういう議論になってまいりました。

この資料をもとに今まで議論を重ねて、では、テーマをどうしましょうという形でまとめたものが、資料3の次の、めくっていただいてA4の縦の「第4期中原区区民会議検討テーマの案」という形で、これも今までの議論を重ねて、この資料をもとにテーマを進めてまいりました。

まず3つ重要だろうということで、みんな重要なんですけど、防災と子育て支援、それと文化、伝統、歴史、その他中原区の魅力発信等、元気になる活力向上ということで、この大きな3つがテーマになるだろうと。今言ったのは普遍的に大切なテーマで、委員の方からも発言がありましたとおり、これは前にもやりましたという発言もありましたが、第4期についてはそれプラス、表現が「新旧住民」になっておりますが、今まで住んでいた方と新しく来た方、中原区は非常に人口の転入が多いということで、人口もふえておりますので、その交流、もしくは世代間の交流も必要だろうということで、左側の普遍的な3つのテーマに右側の今、中原区の特徴的なテーマを足して考えていこうと。そうすると、今までの第1期からやっている、似たようなテーマだけでも今まさしくそれが中原区の課題ですよという形でこのテーマを出してきました。この資料をつくったときには第1のテーマを防災にしましょうということで今まで議論を重ねてまいりましたが、子育て支援と3つ目の魅力発信については案として出して、これから区民会議の中で議論して決めていきたいと思いますということを決めてまいりました。確認のために資料の説明をいたしました。

以上でございます。

川連委員長 ありがとうございます。

それでは、富岡副委員長からの報告及び事務局からの資料説明を踏まえて、時間の許す限り意見交換を行いたいと思います。

2つ目の審議テーマについて絞り込みを行いたいと思います。意見のある方は挙手をお願いしたいと思います。

それでは、私のほうでお願いしますけれども、成田委員。

成田委員 御指名ありがとうございます。

私自身、子育て支援の立場からこちらの会議に参加させていただいております。先日の運営部会でも若干お話しさせていただいたんですが、特に年齢層を幼児、乳児に絞らずに1つの子供とくくった場合に、そこでどうやって支援ができるかということで、やはり人間関係をテーマに考えてみたいと思いました。

今、子育て支援関連でさまざまな世代のお母様方、学校関係の方ですとか保育園関係者の方々とお話しする機会が多い中で挙げられているのが、子供自身以上に親が、親の人間関係、コミュニティづくりが非常に下手な方がふえてきているという話がありまして、実際私が幾つかかかわった中でも、子供の関係の中に親同士の関係が入り込んで、それが子供の学校での学校生活に影響を及ぼすですとか、親自身が人と溶け込めないということで、子供と一緒に屋内に閉じこもってしまうといった、人間関係づくりが非常に複雑な方が多いということで。そうしますと、学齢期に入りまして、今度はお子様が学校から家に帰ってきたときに、人間関係の下手な親御さんの中で困られた生活をすることによって、お子さん自身が人間関係を形成していくのにデメリットが多いのではないかと。

そして、もう1つは、地域の中で非常に豊かな人生経験を積んできた方と、そういったお子様方が直接何らかの形で触れ合うこと、それから、会話をすることによって親子関係の中だけでは解決できない子供さんが持っている悩みですとか、お子さんに関する気づかないことを周囲がシグナルを受け取ることができるのではないかとということで、例えば、最近は直接お子さんと親御さんがデパート等の大型店に買い物へ行かれるケースがほとんどになってしまいましたけれども、地元の商店街にお子さんが1人で物を買に行って、そこでお店の方々といろんなやりとり、お金のやりとりですとか物のやりとりですとか、そういったことを通じながらいろいろな情操を形成していくような豊かなまちづくりというものが、今とても必要ではないかと思っております。

どちらかという、やはりそれぞれのテーマごとに高齢者、子育て、いろいろなイベントですとか講演会等がありますが、それぞれ世代が途切れ途切れで、なかなか融合した中でやっていくことが非常に少ないということがあります。例えば一例ですけれども、たまたま主任児童委員さんと話す機会がありまして、そこでは例えばお正月のイベントとしまして、高齢者と子供たち、それを支える地域の方々という3点の面から、ふれあい新年会ということで、お子さん方には餅つきとたこ揚げ、それから、それをやる中で、お年寄り

には同じ会場でいわゆる敬老会の新春寄席を同時に開催するというので、お互いが持っている触れ合う場面を一緒のところで開催しようといった試みもあるということをお聞きしました。そういった世代間、いろいろなエリアを通り越した子育て交流の形を模索できればなと思います。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。寺岡委員、何かございますでしょうか。

寺岡委員 私はちょうど12月の末に各委員に送られました、提案型事業というものがありますけれども、一昨年、メタルパッチワークに関わらせていただいたんです。

今、この3項目ある中に全て住民の交流というものがあるんですけども、こういった中で提案型事業みたいなものに商店、製造業、そういうところを含めまして、何かそういう場を設けてもらおうと非常にいいのではないかと思うんです。5月の市民報告会でも市民館の2階を利用して展示等をちょっとやらせていただいたんですけども、ああいったことを中原区内でも年に1回ぐらいやっていただいで、もう少しそういう商店、工場、住民の交流というものをやっていただいたら非常にこのテーマにマッチするのではないかなと思うので、ぜひ区民会議でも検討してほしいと思っています。

川連委員長 どうもありがとうございます。橋本委員。

橋本委員 今、子育てサロンは民生委員の方が中心になってやっていらして、私ども住吉地区でもすごく活発になってきました。お母様方もその都度新しい親子で参加する方がふえてきましたけれども、そういう子育てサロンの中に世代間の交流ということで、シニアの方とか、そういうふうな方たちと一緒に何か行えるような、そんなようなものを一緒にやっていけるような、民生委員の方でもお若い方も年齢の高い方もいらっしやいますけれども、単一でやるのではなくて、そういうふうなところと交流をする何かを考えられたらいいかなと思っています。

富岡副委員長 私は民生委員をやっておりますので、一言お話しさせていただきたいと思っています。

子育て支援の目的は、児童虐待とかいじめ、ひいては自殺に至る、そういったことをなくそうということで、行政、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会で連携して活動しておりますけれども、まず小さいところからいきますと、こんにち赤ちゃん訪問運動というものがございます。訪問員が3カ月までの赤ちゃんのところに訪問いたしまして、いろいろなグッズをお届けし、またお話をするという訪問活動しております。それから、子育てサロンはゼロ歳から3歳、5歳まででもいいんですが、子育て支援運動を展開しております。これは行政と社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会が三位一体となって活動しております。それから、幼稚園の前に保育園がございますね。保育園も先日、保育園長さんと主任児童委員の人との懇談会がありましたよね。認可保育園の園長さんがすごく集まってくれまして、それで懇談会を始めました。いろいろな意見交換をいたしまして、いろいろな問題、課題の抽出等を行いました。それから幼稚園へ行きますね。それか

ら、小学校、中学校、そこまでなんですけど、こども支援室のほうで学校とのつながりがございまして、我々としては学校との連携交流ということで、学校の行事、情報交換会、児童の登下校時の安全確保運動及びそのときの挨拶運動等々をやっておりまして、児童との交流、学校との交流を行っております。

そういうことで、学校との連携も最近はずごく濃く深くなってまいりまして、学校等の人も顔見知りになりまして、いい関係が保てておるわけでございますので、そういうことで児童に対する支援はかなり充実しておるのではないかと思います。その中で課題は必ずあるわけですし、その課題を抽出するには、前回保健所で行われていました1歳児健診とか何歳児健診とかといったときに、外へ出てきたお母さんたちにアンケート調査をいたしました。あの中でいろいろなアンケートが出ておると思います。ほとんどがいいことが書いてあるんですが、中には辛辣な意見もあるはずですよ。それが本当の課題かなと思いますので、あれを大いに活用して課題を検討していったらいいのかなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

川連委員長 どうもありがとうございました。それでは、板倉副委員長、お願いいたします。

藤嶋委員 石井委員にもお話を聞いて。石井委員にも。

板倉副委員長 それでは、ちょっと短く。

私どもの活動しておりますまちづくり推進委員会というのがあるんですが、ここでは昔遊びということで、それぞれのイベントに参加いたしまして世代間交流を図っているという活動をしております。それは活動の話ですけども。

この問題をこれから具体化していく上で、今、富岡副委員長からお話もありましたように、第3期のアンケート。非常に件数が多い。たくさん集まっておるので、問題点が集約されているんだと思うんですね。この辺をもう少し見直して、テーマを具体化していったらどうかと思います。

以上です。

川連委員長 どうもありがとうございました。では、藤嶋委員、どうぞ。

藤嶋委員 石井委員とはずっと保護司で活動していて、大ベテランで、いろいろすごくわかっている方なんですね。

先ほどの①、②、③の中なんですけど、川添課長から説明がありました文化、伝統、歴史とあるんですが、伝統と歴史は同じような、別なんですけど取ってもいいのではないかと思います。先ほどの区長さんの挨拶のように、スポーツということを1つ取り上げてもいいのではないかなと思っております。中原区の橘高校、法政とか、いろんな学校がとてもスポーツで活躍していますし、等々力競技場もあるので、その点、文化、歴史、スポーツ、それがまた魅力のある新旧住民の交流になるのではないかなという気がいたしました。

以上です。

川連委員長 どうもありがとうございました。

皆さんからいろいろと御意見をいただきましたけれども、次のテーマは子育て支援ということによろしいでしょうか。

青木委員 2番目のテーマ、子育て支援があったと思うんですけれども、確かに中原区の子育て支援事業は行政の支援のおかげで、行政と5地区の子育て支援実行委員会の協働事業が多くて、本当に川崎市内で間違いなくトップだと思います。しかし、いじめとか虐待とかはないわけではなくて、かなり高水準だと思うんです。一旦、平成22年に7区の中で中原区が人口が一番多いにもかかわらず減少したんです。その後ちょっとふえているということで、やはりゼロ歳から3歳が一番大切なところで、そのところで子育てサロンを通してこんにちは赤ちゃん訪問をする。

それから、もう1つ、実際に今年の4月から中学校の授業に幼児との触れ合いが家庭科の必修科目で入りましたので、ぜひこの子育て支援と中学校を含めた取り組みを、もっと深く入り込んで、やはりいじめは根絶したいなという思いでございますので、ぜひ子育て支援を次のテーマにさせていただきたいと思います。

川連委員長 ありがとうございました。

それから、きょう石井委員は初めての御出席なんですけれども、一言ありましたらお願いいたします。

石井委員 きょう初めて参加させていただきまして、子育ての支援のお話でございます。先ほどどなたかもおっしゃっていましたが、主として民生委員が担当しているんですよ。これは防災にもかかわってきますし、先ほどの意見の中にもございましたが、消防団も今足りないという感じですね。そのほかにもやはり民生委員も欠員の状態があちこちで出始めていまして、特に都市部は1人当たりの担当人員が減っちゃっていると言ったらいいんですかね。ですから、非常に民生委員の負担というものが、欠員が出ると大きいんですよ。

子育て支援も、私も何人かにかかわってきたんですけれども、やはり全てボランティアですから、本当に子供が好きの方とか、そういう方でないとなかなかできないのが現状なんですよね。実際に子育て支援の現場へ行きまして、子供のとか、あるいは赤ん坊の寝顔を見ていますと本当に自分自身も救われる、心が癒されるというか、そういうことなので、皆さん、それで会場へお手伝いに行くというふうな方たちばかりなんです。

さっきも防災の関係で出ていましたが、消防団員もやはり足りないで、これも消防団の対応とか、そういうときにちょくちょく言われるんですけれども、町内会で何とかしてくださいよと言われてもなかなか、それは昔の方たちでしたら本当に理解があるんですけれども、今の若い方たちで、またお勤めの関係とかそういうことで、今、お勤めも大変ですから、仕事を持って消防団に加わる形はもうほとんど不可能でございますので、機会あるごとに消防団にも入っていただきたいということを強く訴えてほしいという御意見が多い

んですよ。

それとあわせて、今言いましたように民生委員の、そちらも全部充実をするようにひとつお願いしたい。何とかPRしていただきたいと思います。

以上でございます。

川連委員長 ありがとうございます。

最近は民生委員さんも大分本当に仕事が多くて大変だそうで、それが今、商店街のほうに回ってきまして、商店街も高齢者の問題で協力してもらいたいというふうなお話が商店街にも来ておりまして、会議などで何回も取り上げてきました。

あと御意見があればお伺いしたいんですけども、どうでしょうか。

では、ないようですので、皆さんにお伺いしたいんですけども、次のテーマを子育て支援ということで決めたいと思うんですけども、よろしいでしょうか。よかったら挙手をお願いします。——ありがとうございます。わかりました。

この子育て支援をテーマにしたとき、先ほども富岡副委員長、板倉副委員長からも話が出ましたけれども、どういう視点で検討すべきなのかということですね。さっきお2人から出ましたけれども、第3期のときに保健所の前でお母さん方にアンケートをいただいているんですよ。このアンケートを何かまとめて、そうすると、またそういう視点というか、よくわかってくるのではないかと思います。ですから、次回までに行政の方をお願いをしまして、その辺のところをきちんとまとめていただきたいなと思っております。

それでは、本日も大体予定の時間になってまいりましたので、意見交換はここまでにさせていただきます。

本日の会議で出ました皆様の御意見や希望を踏まえて、2つ目の審議テーマを2月20日に開催予定の運営部会で決定していきたいと思っております。

4 その他

・平成24年度区民会議交流会について

川連委員長 次に、その他として、平成24年度区民会議交流会について事務局から説明をお願いいたします。

事務局 それでは、事務局から説明させていただきます。

資料については資料4「平成24年度区民会議交流会の開催について」ということで、A4の縦の資料になります。これは、区民会議は1期当たり2年やっています、交流会は毎年やっております。2年目の全体の総括のときには活動の報告という形ですが、今回は1年目に当たりますので、交流会という形で川崎市内7区の区民会議の委員の方の交流を目的に開催いたします。

開催日時につきましては、来月、2月14日（木）18時から19時30分、1時間半の予定で行います。その終了後に懇親会もあります。

開催場所につきましては、中原区役所5階会議室ということで、ちょうどここになります。

す。502会議室でございます。

内容については、区民会議委員同士の交流を主目的に行います。

それと、その下のタイムテーブルを見ていただくとわかるんですが、阿部市長から「区民会議について」ということで区民会議の成り立ちや区民会議の役割、皆さん御存じでしょうが、再確認のためにここでお話をしたいということになっております。

交流会終了後、中原区役所食堂、4階に食堂があるんですが、そこに移って懇親会を行います。

下のタイムテーブルを見ていただくと、17時45分から受け付け開始して、18時に交流会のスタートで、最初は市長講話ですが、これを30分ほど行います。市長講話の後に7区の委員の方、テーブルで、テーマとしては「区民会議の認知度向上について」ということで意見交換をしていただきたいと思います。各区の区民会議は、やはりいかに知ってもらおうかというのがテーマになっておりますので、これについての意見交換、もしくは市長の区民会議についての講話についての意見交換も含めて行いたいということでございます。

ここまではこの会議室で、出席者としては当然区民会議の委員の方、それと傍聴も可能でございます。参与の方につきましては議論の中に入るという形ではなくて、傍聴していただくということで、区民の方と一緒に傍聴席を設けておりますので、都合のつく方はぜひ来ていただきたいと思います。

案内状につきましては、市民・こども局から各参与の方にお知らせするというところでございましたので、また詳しいことはその中に書いてあると思います。

懇親会が最後にあるんですが、実はこれは、ここには参加できないということで、ここに参加できるのは区民会議の委員のみでございます。申しわけございませんが参与の方もこれには参加できない。それと、傍聴された区民の方も懇親会については参加できませんという形をお願いしたいと思います。

参加者については、そこに書いてありますとおり各区の7区の区民会議委員。今のところ70名前後の委員の方が参加することになっております。それと、行政からは市長、各区長、市民・こども局長と、関係職員ということで事務局、各区からは企画課が2名参加いたします。一番下に書いてありますとおり、傍聴可能といたしますので、ぜひ関心のある方は来ていただきたいと思います。ただし書きに書いてあるとおり、交流会までが傍聴可能なので懇親会は参加できませんということでございます。ぜひいらしていただきたいと思います。

それと、委員のみになりますが、1枚めくっていただいて、これは出欠の確認表という形で手元にあります。これは委員のみなんですが、先日出欠の確認をいたしました。再度最終的な確認という意味で、区民会議交流会出欠確認表ということで、表題が平成25年度になっていますが、平成25年もしくは平成24年度区民会議交流会の確認表があります。これにお名前を書いていただいて、交流会の出欠と懇親会の出欠、先日お聞きしたんですが、再度最終確認という意味でこれを記入していただいて、きょうの区民会議の終了のと

きに事務局でお預かりします。ぜひ記入していただきたいと思います。

交流会につきましては以上でございます。

川連委員長 ありがとうございます。

今の説明について何か御質問があればお願いいたします。よろしいでしょうか。

・第4期区民会議スケジュールについて

川連委員長 それでは、次に移りたいと思います。第4期区民会議スケジュールについて事務局から説明をお願いいたします。

事務局 それでは、また事務局から説明いたします。資料につきましてはA3の横長の資料5でございます。

これは先日来、説明している資料でございます。2年間の全体的な流れをスケジュールに落とし込んでありまして、決まったところから情報を足しているということで、現在が第3回区民会議、1月22日、本日ですね。ここにあります。今までの課題調査部会、運営部会の報告を受けて、今回第2のテーマ、いわゆる検討テーマ2ということで、次の第3回運営部会の中で、子育てのテーマではありますが、より具体的にテーマを絞っていく。子育ての中でどういう形のテーマとしていくかという形で絞らせていただきます。それを第4回、次の区民会議を右に書いてありますとおり3月18日、19日、21日、22日、これは候補なんです、このうちのどこかで次の区民会議を開きまして、課題調査部会、運営部会を行いまして、次の区民会議、検討テーマ2という形で決めさせていただきます。

それと、第4回区民会議の下に矢印が行ってしまして、区長報告という形になっております。これは区民会議、2カ年の期間ですが、1年ごとに中間報告という形で区長報告をしたいと思います。当然、第4期が終わる2年目の最後には区長報告案はもちろんのこと、昨年5月に行いました市民報告会を行って、区民の方に区民会議の取り組みを知っていただくという形のスケジュールになっております。

スケジュールについては以上でございます。

川連委員長 どうもありがとうございました。

質問はございますでしょうか。

塚本委員 先ほども少し質問というか、初年度なのでわからないので教えていただきたいんですが、こういうふうに各数カ月ごとに検討テーマを決めて、きょうのこういう資料2のような各テーマによって取り組み案というものが出てくると思うんですけども、これは区民会議というものは、こういうものを取り組み案として決めて、それぞれ3つのテーマでたくさん、言ってみれば取り組み案が出てくるということなんですけれども、これは、では、この取り組み案を決めた上の次のステップというものは具体的にどうなっていくのかということ、ちょっとまだイメージできていなくて、ここで決めれば別途実行部隊の人がいて、がしがしやってくれるとも思えないので、それがどういうふうなものなのかというものを、ちょっと簡単にイメージを教えてくださいたいんですが。

事務局 それでは、資料2に戻っていただきまして、課題解決に向けた取組事項（案）という形で、先ほど委員長のほうから了承いただいたと思うんですね。課題調査部会の中でこういうことがありますねと課題の洗い出しをした、これが全リストになります。これを全部できればいいんですが、やはり時間的な制約、それとぎりぎりの制約というか、そういういろいろな制約がある中で、その中で優先度をつけて、では、何ができますねという形で取り組みをするんですね。

塚本委員がちょっとわからないのは、これは誰がやるのという話になると思うんですが、これは区民会議は区民みずからが活動していくという形で、仮に、先ほどの議論の中にもありましたが、イベント実施ということで決まったとしますと、そのイベントを区役所に頼んで全部やってもらうのではなくて、当然区民会議の中で企画もやる、会議も重ねる、会場については区役所と決まれば区役所も使っていただいて、その中で自分たちで何ができるか。そうはいっても協働というテーマの中で我々行政も一緒になってやる。もしくは区民会議の委員の方は各団体から出てきていただいているので、この団体の方も入れて一緒に取り組みをやりましょう。では、何個やれますかという形で進めていくことになります。

先ほどの3・11の情報コーナーなどは、事業の性質上、これは行政だけでできてしまうというものもあるので、行政の取り組みとしてどうする、それと区民会議として一緒になってやる。もしくは、もう1つ考えられるのは、各委員の団体に戻って区民会議のテーマでこういうことが決まったから、自分の所属している団体もしくは知っている団体で、区民会議でこういうことを議論されたので、小さなことからこういうことができるよねという形で進めたとしたら、それを区民会議にまた持ち帰っていただいて、私の団体ではこういうことをやっていますよという形で、区民会議が主導的な立場で事業に取り組む、事業を進めていくとイメージしていただければよろしいかと思います。

塚本委員 いろいろな制約の中で、では、優先順位的に、もしくは現実的にできそうなものはどれかという絞り込みを、また別途区民会議の中でやっていくという。

事務局 そういうことです。

塚本委員 わかりました。

川連委員長 よろしいでしょうか。あと何かございますか。

それでは、ないようですので、次に移らせていただきます。

以上で本日予定しておりました議事は全て終了いたしました。ほかに皆様から何かございましたら挙手をお願いして発言していただきたいと思います。——よろしいようですね。

それでは、ここで区民会議の参与の皆さんに一言ずついただきたいと思います。本日の議論を聞いていただいてお気づきの点などの発言をお願いいたします。なお、時間の都合もございますので、恐縮ですが、一言ずつお願いしたいと思います。

では、市古参与から。

市古参与 済みません、年の初めなものですから、またことしもよろしく願いいたします。

成人式の日本当にすごい雪が降りまして、私は式典から家に戻るまで2時間かかりました。ですから、晴れ着の皆さんは本当に大変な思いをされたのではないかと思いますし、先ほど区長から雪かきの話が出たんですけれども、あの晩、うちも次の日、多分凍ってしまうのではないかということで、夜中うちの夫と一緒に雪かきをしたんですね。隣の方が、80歳を過ぎているんですけれども、腰にブロック注射を打って、そして雪かきをするというふうな状況で、その後、ちょっと道を一回見てみましたら、やられていないところとやっているところがあるということで、それぞれ戸建の家でもいろいろな事情があって、これがずっと凍ったままでどうなるんだろうという心配をしていたらインフルエンザにかかってしまいまして、やっときょう出てきたような状況なんです。

お話を伺っております、本当にこの区民会議が受け持つ分野というものが非常に大変な分野があって、これに取り組むのはすごく大変なことだと思っているところです。私たちとしてみれば地域防災計画の見直しも出ていますので、真剣に議論もしながら、地域から実効性がある防災対策ができるような形。なかなか本当に、私たちも訓練をやっている、本当にこれが実際に起きたときに本当にこれでいいのかということを目問目答しながらやっているということも、自分自身でもまだあるんですね。ですから、先ほどもそんな御意見も出ましたので、そういうことも含めて、それぞれのところで非常にきめ細かな取り組みが始まっていると思いますので、努力をしていきたいと思っております。

またことし1年よろしく願いいたします。ありがとうございました。

大庭参与 ことし初めての区民会議ということで、ことしもどうぞよろしく願いいたします。

私もきょうずっと議論をお伺いいたしまして、この検討テーマを絞り込んでいくということで言えば、3つテーマも出されているんですけれども、防災、子育て支援なんていうものは特に奥が深いし、切実な問題だし、本当に繰り返し議論していかなければいけないようなテーマなのかなと思っています。これも資料に載っていましたが、課題調査部会の議事録がいろいろ細かに具体的なところまで突っ込んだお話がされているようなので、これがまた参考になるかなと思いますが、防災のテーマなんかもこれだけの取り組み事項があるわけでね。これをやっぱり絞り込んで、1つの事例をいい経験を生かしてほかの地域にもという、それだけでも大変な事業だろうなとすごく思うんですね。だから、ぜひ繰り返しの議論がされていくことが必要だろうな。

それから、先ほども言われたように実践を伴っていくという、このことが大事だろうなと思っています。私も議会の中では防災資機材などのことも取り上げたことがあるんですけれども、地域に資機材がどういうものが入っているのか、どれだけの量があって、その日の必要とされる資機材があるのかわからない状況があって、そういうものをマップに落としたらいいのではないかとか。この資機材を点検することからでも自主防の役割や、

地域にそういうことを認知してもらおうとか確認してもらおうという、何か1つのそういった小さなものから、すごく地域のことを知るきっかけになってくるのではないかなということ、きょうの議論を聞いて、いろいろ資料も見せてもらって、ああ、そうだそうだ、こういうテーマがあるなということを確認させていただきました。

この次は子育てということなので、また改めてアンケートを生かしてというお話がありましたので、実りある区民会議になりますように、私もしっかり皆さんの御議論を参考にさせていただいて議会の取り組みに生かしていきたいと思っております。きょうはありがとうございました。

吉岡参与 きょうずっと参加をさせていただきました。ことし1年またよろしく願い申し上げます。吉岡俊祐でございます。

きょう議論を拝聴いたしまして、皆さんのおっしゃっていること、大変参考にさせていただくこと、非常にいろいろな御意見をいただきましたので、これからじっくり考えさせていただきたいなと思ったことがたくさんありました。

行政のほうにお願いがあるんですけども、これからテーマが防災とか子育てとか、そういった感じになると思いますが、行政が取り組んでいるそれぞれの事業を、やっぱり一度整理して資料として皆さんに提供してさしあげたらいかかなと思っております。例えば民生児童委員の方々は子育て協議会については率先してやられていらっしゃいます。そういったことは皆さん認識されていると思うんですが、では、実際にどういったことを具体的に事業としてやられているのかというような話になると、なかなか知られていないのではないかなという気もいたします。御存じだったら大変失礼な発言なんですけれども、そういったことをひっくるめて、川崎市も昨年、児童虐待防止条例が議員提出条例として成立をいたしました。多分皆さんのほうにもなかなか周知はされていないかとは思っております。こういった課題もひっくるめて、やはり市全体としての取り組みを参与の立場できちっと押さえて取り上げていきたいなと。皆さんの御意見を参考にさせていただきながら活動をしてまいりたいと思っておりますので、ことし1年どうぞよろしくお願いいたします。

川連委員長 参与の皆さん、ありがとうございました。ただいまの発言は今後の区民会議の参考にさせていただきたいと思えます。

それでは、事務局は何かございますか。

事務局 事務局からは次回の区民会議の日程についてお知らせがございます。

各委員の方にはお願いなんですけど、先ほどスケジュール説明の中で申し上げましたとおり、第4回、次の区民会議の日程について候補が4つあります。まず1つ目が、スケジュールをごらんいただければわかるんですけど、3月18日（月）、3月19日（火）、21日（木）、22日（金）の午後で開催を考えておりますので、都合の悪い方がいらっしゃいましたら本日の会議終了後、事務局までお申し出をお願いしたいと思います。

もう一度日程を繰り返します。3月18日、19日、21日、22日の午後でございます。都合

の悪い日にちを事務局までおっしゃっていただきたいと思います。

以上でございます。

5 閉会

川連委員長 わかりました。

皆様に御協力をいただき円滑な議事を進めることができましたことに、本当に委員長ともども深く感謝申し上げます。

これで第3回中原区区民会議を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

午後3時58分 閉 会